

| | |
|---------|---|
| 氏 名 | 西 村 守 |
| 授与した学位 | 博 士 |
| 専攻分野の名称 | 医 学 |
| 学位授与番号 | 博乙第 4402 号 |
| 学位授与の日付 | 平成 25 年 6 月 30 日 |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当) |
| 学位論文題目 | Serum oxidative-anti-oxidative stress balance is dysregulated in patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma (C型肝炎関連肝癌患者において酸化ストレス・抗酸化力の バランスは障害されている) |
| 論文審査委員 | 教授 山田 雅夫 教授 加藤 宣之 教授 八木 孝仁 |

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

慢性肝疾患，特に C 型肝炎において酸化ストレスが病態の進行に関与していることが明らかになっている。しかし，抗酸化力についての報告は少ない。本研究において我々は，慢性 B 型・C 型ウイルス性肝疾患患者において酸化ストレス，抗酸化力がどのようなになっているか，検討を行った。健常者に比べ，慢性肝疾患患者全体の酸化ストレスは亢進しており，その中で C 型肝炎であることが高酸化ストレス状態に有意に関係していた。C 型肝炎患者の中では，肝細胞癌を合併していることが抗酸化力の低下に関係していた。C 型肝炎症例においては抗酸化力の低下は肝臓で合成されるタンパク質の代表であるプロトンビン活性の低下と関係していた。この抗酸化力の低下は早期肝細胞癌の治療により改善した。以上より C 型肝炎肝細胞癌患者において酸化ストレスの上昇に加え抗酸化力の低下が認められることが明らかになり，抗酸化剤による治療などを検討していくうえで有用な知見であると考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究では，慢性 B 型・C 型ウイルス性肝疾患患者において，血清を用いて，酸化ストレス，抗酸化力を評価している。その結果，健常人に比べて，慢性肝疾患患者全体の酸化ストレスは亢進していて，その中でも C 型肝炎であることが高酸化ストレス状態と有意に関係していた。また，C 型肝炎患者の中では，肝細胞癌を合併していることが，抗酸化力の低下に関係していた。以上より，C 型肝炎関連肝細胞癌患者において酸化ストレスの上昇に加え抗酸化力の低下が認められることが明らかになり，同疾患の病態解明に有用な知見を得たものとして，価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。